

Scrap型の技術記事を書こう

RICORA Programming Team

技術記事を書くメリット

- 自身の勉強のため
 - 記事を書く過程で詳しく調べたり知識を整理したり
- 未来の自分のため
 - 過去の自分は他人
- コミュニティのため
 - 同じ部分で躓いている誰かのために
 - 界隈での名誉・信用を得るために

技術記事を書くのは面倒

- 技術記事は完了した作業の過程を後から振り返る形で書く
 - 終わったことを記事にまとめるのは面倒
 - かといって作業しながら清書するのも面倒
- 作業のメモ書きは残してあるが...
 - そのまま公開すると記事として成立していない
 - 作業メモ≠記事
- どうしよう 🙄

結論

#RICORA

- Scrap型の執筆プラットフォームを使おう
 - Scrapbox
 - <https://scrapbox.io/>
 - Zenn
 - <https://zenn.dev/>
 - など

Scrap型で執筆するメリット

- 進行中の作業の過程や学習の記録をそのまま残せる
 - 日記のような感じで小さい記事を積み重ねる
 - 思考、実行したコマンド、キーワード、参考にしたURL等を投げる
 - 小さい技術記事を集めて自分用チートシートを作るような使い方も
- 下書きのような状態のまま公開できる

✓ 技術記事の執筆の敷居が下がる

Scrapbox

- UIがシンプルで使いやすい？
- フォルダーの概念がなく、後からメモ同士のリンクを作って整理できる
- 検索が便利
- 関連記事のサジェストが優秀
- Markdownではなく独自の記法を採用
- そもそもIT技術専用プラットフォームではないので汎用的に使える
 - 数学とか料理レシピとかゲームの攻略メモとか

Zenn

- デザインがすき
- Zennではスクラップ、記事、本の3つの執筆形態がある
 - スクラップはまとめられない段階の知見も残す
 - 記事はある程度まとまった知見を残す
 - 本はある分野について詳しくなったときに、ボリュームのある知見を体系化して残す
- あとはこの記事読んで
 - <https://zenn.dev/catnose99/scraps/5b32cfbaba40a313804f>
 - <https://zenn.dev/zenn/articles/about-zenn-scraps>

まとめ

#RICORA

- アウトプットをしよう
- 記事として出すのが面倒なら Scrap型の執筆プラットフォームで知見をまとめよう

ご清聴ありがとうございました

RICORA